

令和7年度 ありんこの家地域連携推進会議 議事録

日 時：令和7年11月10日（月） 10：00～11：30

場 所：ありんこの家 食堂

出席者：利用者 1名（母親同席）

利用者家族代表 1名

地域の関係者 丸山区 区長

福祉関係者 社会福祉法人 東広島市社会福祉協議会 黒瀬支所 支所長

市町担当者 東広島市障がい福祉課 主事

管理者 1名

サービス管理責任者 1名

1. 管理者挨拶

管理者より開会の挨拶を行った。

2. 参加者紹介

参加者名簿に沿って、参加者の紹介を行った。

3. 委嘱状伝達

管理者より、地域連携推進員の任期は2年とする。但し、推進員の状況により任期中の交代も柔軟に対応する事を伝えた。

4. 地域連携推進会議の設置の背景及び目的、役割について

管理者より、地域連携推進会議の目的とし、障害福祉サービスの実績や経験があまりない事業者により、適切な支援が提供されない実態がある。利用者の安心・安全を確保するためには外部の目を入れ、透明性を高める事で支援の質の低下を防ぐ事を目的とする事の説明を行った。併せて、議事録をHPに掲載する事を伝えた。

5. 施設の概要及び利用者状況報告

資料により、施設の概要、利用料、入居者の平均年齢、障害区分について説明を行った。

6. 利用者の一日の流れ

別紙資料で、利用者の通所時、休日の一日の流れを時系列に説明、併せて、生活支援員（夜勤者）、世話人の仕事の流れの説明を行った。

質問として

【地域関係者】平日に入浴は書いてないですが、どこで入っているのですか？

【サビ管】生活介護事業所（黒瀬ありんこ）で、日中活動で入浴しています。

7. 利用者個別支援について

別紙資料で、利用者の特性に合わせた個別の支援計画について説明を行った。

（配布資料は、会議終了後回収した。）

8. ヒヤリハット報告

資料により、ヒヤリハットの件数、状況を報告し、併せて事例の対策について説明を行った。いつも様子が少しでも違った事があった時は、必ずサビ管に報告するように伝達をし、事例の対策については職員で協議し、皆で共有、実施している事を伝えた。

9. 意見交換

利用者、利用者代表家族への質問

【サビ管】ありんこの家の食事は美味しいですか？

【利用者】美味しいが、ご飯の量が少し多いです。

【利用者同伴家族】家では、子供用茶碗に入れて、本人の要望でお代わりをする時もあります。

【サビ管】では、明日からご飯の量を半分にします。

【サビ管】自宅でありんこの家の事を話されますか？

【利用者家族代表】ありんこの家の事より、生活介護事業所の利用者の話をします。

利用者がコロナに感染した時、自宅に連れて帰ったが、自分も体調がおもわしくなく、ちょっとしんどかった。

10・居室見学

出席者に2階に上がってもらい、居室見学を行った。

11. 居室見学後の感想

【市町担当者】建物の中は広いし、外観や内装の色合いも良く、利用者が住みやすいつくりになっていると思う。ヒヤリハットに対しても、対策をしっかりと考えられ、共有されている。

【福祉関係者】部屋が広く使いやすいように見えました。廊下も広いので、車椅子での移動も安心ですね。

【地域関係者】以前、自分が勤務していたので、7名の方たちを全員知っています。

保護者も高齢になって慣れている所に預けて安心されている事でしょう。7名以外でも、ありんこの家に入りたい希望者はいますか？

【サビ管】現在、ご希望の方は聞いていません。

【市町担当者】地域との関わりは有りますか？

【サビ管】今の所、ありんこの家では無いですが、生活介護事業所の方では、イベント時に地域の方をお招きして、色々なパフォーマンスをして頂いています。イベント時、世話人、生活支援員（夜勤者）にも声を掛け、普段の利用者の様子を見てもらい、利用者の事をより理解してもらっています。

【利用者同伴家族】ショート利用は、生活介護事業所の利用者が順番に体験するのかと思っていました。

【サビ管】現在は、保護者が希望された方で、週末の生活介護事業所が休所日前後での利用となっています。定期的な利用は、今の所ありません。

最後に

【管理者】「皆様におかれましては、本日はご多忙のところ、貴重なお時間を頂き誠にありがとうございました。議事録は、年内にホームページにアップの予定となっております。今後とも、宜しくお願いします。」の挨拶で終了とする。